

お茶で九州/日本/アジア/世界をひとつに結ぶ

第二回「ティーロード・茶壺道中」「聖福寺献上・茶壺式典」

報告書

2012年10月吉日

一般社団法人お茶結びプロジェクト

<ご報告>

本年10月6日、7日、8日に実施いたしました“お茶で九州/日本/アジア/世界をひとつに結ぶ”
第二回「ティーロード・茶壺道中」と「聖福寺献上・茶壺式典」は、大過なく終了致しましたことをご報告申し上げます。実行委員会委員の方々をはじめ、ご後援、ご協賛、ご支援を賜りました皆様のご厚情とご支援に深謝申し上げます。また、ここまでの道のりを支えていただきました皆様に重ねて御礼申し上げます。

さて、一般社団法人お茶結びプロジェクトは2013年の10月12日、13日、14日(うち2日間予定)の第三回実施に向け新たなスタートを切りたいと考えております。回を重ね継続することで、何れ大輪となればと願っております。

つきましては、思いがひとつに結ばれるまで、継続しご支援・ご尽力を賜りたく、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

以下、事業の詳細をご報告申し上げます。

第二回「ティーロード・茶壺道中」と「聖福寺献上・茶壺式典」の構成

<主催> 一般社団法人お茶結びプロジェクト

「ティーロード・茶壺道中実行委員会」

実行委員長 石原進/九州旅客鉄道(株)会長

副委員長 吉村馨/九州農政局長、広実郁郎/九州経済産業局長、佐藤尚之/九州運輸局長、

柳澤興一郎/(社)日本茶業中央会 専務理事

特別顧問 細川白峰/聖福寺第133世住職、

顧問 小川洋/福岡県知事、高島宗一郎/福岡市長

委員 霜出勘平/九州茶主要産地市町村協議会会長・南九州市長、渡邊悟/九州茶主要産地市町村協議会理事・東彼杵町長、谷口太郎/九州茶主要産地市町村協議会副会長・嬉野市長、三田村統之/九州茶主要産地市町村協議会副会長・八女市長、山崎一樹/福岡市副市長、江頭正則/吉野ヶ里町長、小田保/(社)九州経済連合会産業第一部長、高橋誠/九州観光推進機構事業本部長、中村仁彦/九州商工会議所連合会常任幹事、田口五朗/NHK福岡放送局局長、本郷譲/博多まちづくり推進協議会会長、徳永睦子/社団法人お茶結びプロジェクト理事長

<特別協賛> 「九州茶主要産地市町村協議会」 南九州市、東彼杵町、嬉野市、八女市、日置市、南さつま市、鹿児島市、さつま町、湧水町、霧島市、曾於市、志布志市、錦江町、広川町、筑後市、唐津市、佐世保市、山都町、八代市、山鹿市、都城市、高千穂町、五ヶ瀬町

<後援> 九州農政局、九州運輸局、九州経済産業局、(社)九州経済連合会、九州旅客鉄道(株)、九州観光推進機構、福岡県、鹿児島県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、大分県、福岡市、吉野ヶ里町、九州商工会議所連合会、博多まちづくり推進協議会、(社)日本茶業中央会、九州農業成長産業化連携協議会、鹿児島県茶業会議所、鹿児島県茶商業協同組合、鹿児島県経済農業協同組合連合会、(社)鹿児島県茶生産協会、全国農業協同組合連合会福岡県本部、福岡県茶生産組合連合会、福岡県茶商工業協同組合、福岡県茶業振興推進協議会、福岡八女農業協同組合、福岡八女農業協同組合茶業部会、八女茶振興会、福岡八女玉露振興会、茶のくに八女・奥八女玉露研究会、西九州茶農業協同組合連合会、佐賀県茶商工業協同組合、佐賀県農業協同組合、長崎県茶業協会、ながさき茶ネットワーク、そのぎ茶振興協議会、NHK福岡放送局、読売新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、朝日新聞社、佐賀新聞社、大分合同新聞社、長崎新聞社、南日本新聞社、RKB毎日放送、KBC九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送

九州茶主要産地市町村協議会の主な関係者(茶壺道中、献上式典ご出席者含む)の方々

<南九州市>

霜出南九州市長、山口南九州市茶業振興会長、桑代 JA 南さつま課長(茶壺展示)、松久保 JA いぶすき部長、今市南九州市茶業振興会副会長、同会浜田理事、後藤理事、嶽理事、池田理事、雪丸理事、鮫島南九州市茶業課長、同大坪係長、……………

<東彼杵町>

渡邊東彼杵町長、岡田東彼杵茶商組合理事長、中山 JA ながさき県央東彼杵茶業部会長、松尾茶生産農家代表、東坂茶生産農家代表、大場茶生産農家代表、山口茶生産農家代表、原田東彼杵産業振興課長、岡田係長……………

<嬉野市>

谷口嬉野市長、橋爪佐賀県茶商工業協同組合理事長、伊東佐賀県農協みどり地区理事、松尾佐賀県農協みどり地区茶業部会長、山口西九州茶農業協同組合連合会参事、松村佐賀県茶業試験場場長、宮園生産者代表、吉牟田生産者代表、田中嬉野市議会代表、一ノ瀬嬉野市産業振興部長、宮崎茶業振興課長、佐賀県職員、嬉野市職員、JA嬉野支所職員、JAみどり地区茶業部会役員 ほか

・出発式 嬉野茶の茶祖/吉村新兵衛翁頌徳碑

<八女市>

三田村八女市長、北嶋副市長、久保八女茶振興会会長(JA ふくおか八女組合長)、栗原副会長、山口福岡県茶商工理事長、吉原玉露振興会会長(福岡県茶商工理事)、久間茶のくに玉露研究会会長、〇〇全農福岡県本部本部長、波多江副本部長、橋山特産課長、茶センター場長、〇〇JA 茶業部会会長、斉藤副部会長、今村星野支部長、野上 JA ふくおか八女茶業課長、永松係長、中村福岡県茶推進協議会事務局長、茶商工、吉武福岡県茶連事務局長、八女普及センター、福岡県茶業青年の会、福岡県茶業青年団、牧口八女市建設経済部長、原田農業振興課長、鍋田課長補佐、毛利係長、椎窓担当、八女津姫……………

・出発式 八女茶発祥の地“靈巖寺”から筑後船小屋駅

<趣旨とごあいさつ>

一般社団法人お茶結びプロジェクト 理事長 徳永睦子

21世紀を迎え、我が国の社会構造は大きく変化しつつあります。高度成長を経て経済的には豊かになった反面、長年培ってきた日本人が誇れる伝統と文化を失いつつあることが懸念されています。

その中でもお茶はまさに日本人が誇れる伝統と文化です。ごく自然に口にしているお茶、とりわけ緑茶は、日本人の暮らしにとってかけがえのない、ゆとりの時間を生み出してくれます。アジアで生まれたお茶は、人々の暮らしに深く馴染み、精神文化や芸術にも大きな影響を及ぼしてきました。そして今日、お茶の効能や文化的価値が海外にも知られるにつれ、お茶に対する関心は全世界的な広がりを見せつつあります。

九州7県のお茶は全国で2番目の生産量を誇り、それぞれの風土が育てた個性ある風味と伝統を守っています。日本のお茶文化発祥の地はここ九州です。日本における喫茶の実質的な始祖とされる鎌倉時代の禅僧、栄西は「茶は養生の仙薬なり延命の妙薬なり」という、お茶の効用として有名な言葉を『喫茶養生記』の中に記しております。その後、わび、さびなどに象徴される茶の湯(茶道)も確立され、日本文化の原点のひとつにもなったお茶は、庶民に欠かせない「日常茶飯」の飲み物へと、変遷を重ねていきます。

主食としてのご飯、そしてそれを支える飲み物としてのお茶、という組み合わせで、長寿世界一の秘密として注目されている「日本型食生活」が形成され、今日に続いているのです。お茶はまさに 心を癒す「カルチャー」、体を癒す「サイエンス」。両方を兼ね備え、日本人の人間形成に大きく関わってきたと言っても過言ではないでしょう。

昨今の茶業を取り巻く環境、日本文化、産業の伝承も厳しいのが現状です。今、まさに伝える努力、見直しによる原点回帰、次世代を背負う子どもたちへの「食育、茶育の重要性」が唱えられています。

私ども一般社団法人お茶結びプロジェクトは「食育」と「茶育」の融合を図り、広く日本茶に関する情報を発信し、食文化継承に貢献することを目的に、茶育指導士の育成などさまざまな活動を展開しています。

儀式を行う「聖福寺」は1195年に上述の栄西禅師によって創建された日本最初の禅寺です。その栄西禅師は「茶の効用」を日本人に知らせ、日本のお茶文化を広く普及され日本の茶祖といわれております。本事業は、その栄西禅師の偉業を偲び、お茶で九州/日本/アジア/世界をひとつに結ぶ第二回目の試みです。

九州茶主要産地市町村協議会との連携によって、各地様々な栽培、生産技術、製茶技術を持つ九州の茶産地(南九州市の深蒸し茶、八女市の上級煎茶及び玉露、嬉野市の伝統的な玉緑茶、東彼杵町の手炒り釜炒り茶)から其々の茶を茶壺に入れ、茶祖/栄西禅師が創建の日本最初の禅寺「聖福寺」(福岡市博多区御供所町6-1)までを茶壺道中で練り歩き熟成されたお茶を献上いたしました。

今後も、九州のお茶の消費拡大と普及、子供たちの教育等を九州全体が一つとなるよう推進し、継続によって九州の茶産地の結束力を高め、日本のお茶文化発祥の地“九州”を広く知らしめ、九州のお茶文化の浸透を国内外に図り、同時にこれを機にさまざまな連携する産業(観光、菓子、焼物、織物、家具などの伝統工芸品)を復興し、九州経済の活性化の一助と成し、新たな農商工連携の幕開けのための起爆剤とします。

いずれは世界中の茶業関係者やお茶愛飲家が九州一円に集う“お茶とお茶文化の世界的な見本市”誘致への足掛りになればと願っています。

<全体概要>

<目的>・九州の茶産地の結束力を高め、日本のお茶文化発祥の地“九州”を広く知らしめ、お茶文化の浸透を国内外に図る。もってリーフ消費を拡大し、各茶生産地及び九州経済全体の活性化の一助とし、新たな農商工連携の幕開けの起爆剤とすることを目的に、「ティーロード・茶壺道中」と「聖福寺献上・茶壺式典」を開催する。

<催事内容>・開催日時 2011年10月6日(土)、7日(日)、8日(祝) *入場無料

- ・茶壺道中参加市町 南九州市、東彼杵町、嬉野市、八女市、
- ・開催場所 ①各茶産地の出発式 ②博多駅前広場 ③茶壺道中(博多駅前～聖福寺) ④聖福寺

●10月6日 各茶産地から茶壺が博多駅前広場に到着。12時～茶壺を展示

- ・各茶産地から献上用の茶壺を載せ博多駅前広場の展示台まで運ぶ。
- ・南九州市(出発式/同市内)、東彼杵町(出発式/同町内)、嬉野市(出発式/吉村新兵衛翁頌徳碑前)、八女市(出発式/霊巖寺～筑後船小屋駅/九州新幹線)

●「八女茶による口切の儀」・細川白峰老師(お供/雲水1名)をお迎えしステージ上にて実施

*九州新幹線(11:55着)で来られた八女茶業界の御一行(八女茶振興会会長ほか15名)を、一般社団法人お茶結びプロジェクトの徳永睦子理事長、茶育指導士が出迎え、駅前の茶壺展示台に展示。

13時半から、聖福寺老師による「口切りの儀」を実施。(約20分)

*同会場内の九州茶ブースでは、大分のきつき茶、耶馬溪茶をPR。売茶翁による煎茶(大福茶)のおもてなし、茶育指導士による振舞いなどを行。北部九州災害義援金の募金活動も実施。(九州茶ブース)

●博多駅前広場

- ・10月6日(土)、7日(日)、8日(祝) 10:00～17:00
- ・お茶・お茶関連品の試飲販売とPR、お茶のおいしさを味わっていただく煎茶席
- ・参加茶産地のPRや着ぐるみによるパフォーマンス
- ・献上茶壺の展示・12:00～17:00 *8日(日)は10:30まで展示。
- ・茶壺展示順(左から①南九州市②東彼杵町③嬉野市④八女市順)

●10月8日(祝)<オープニング・セレモニー 10:20～11:00>

- ・主催者挨拶(実行委員長 石原進(九州旅客鉄道株式会社会長))
- ・九州茶主要産地市町村協議会会長挨拶(南九州市長)
- ・出展市長・町長挨拶(①東彼杵町長、②嬉野市長、③八女市長/北嶋副市長代読)
- ・八女の茶山唄の披露(唄/馬場美雅/富松一華、尺八/石川朝節)

●ティーロード・茶壺道中のスタート 11:00～11:40

- ・10月8日(祝)博多駅前広場→大博通り→聖福寺(約1キロ/40分)約300名
- ・実行委員会の方々を先頭に茶壺を茶駕籠に載せ練り歩く
- 進行順①南九州市②東彼杵町③嬉野市④八女市順に各地の法被・茶娘・和装(袴や着物、一般参加可)
- *歩行者通路を信号順守

●聖福寺 *茶祖栄西(ようさい)禪師創建(1195年)の日本最初禅寺へ(博多区御供所町6-1)

- ・11:35～11:50頃まで全参加者が揃うまで待つ(茶駕籠到着→中門→仏殿前へ)
- ・仏殿前着(首長は仏殿の階段を上がり御席に座る)
- ① 九州市②東彼杵町③嬉野市④八女市順で茶駕籠から献上・茶壺を取り出す
- ・来賓・関係者・マスコミ/奉納式会場にて待つ

*実行委員長の御礼のことは

- ・1:55～献上式の前に、ご参加の皆様へお礼の言葉
- 「ティーロード・茶壺道中」実行委員長 石原進九州旅客鉄道(株)会長

●献上式(仏殿) 12:00～12:30

- ・ご挨拶 ①吉村馨九州農政局長 茶業界の発展と農商工連携の九州経済活性化を進める
- ②高島宗一郎福岡市長 市の文化振興と観光開発の推進を進める
- ③永峯更一(社)日本茶業中央会理事(柳澤興一郎専務理事に替わりご挨拶賜る)
- ・首長による茶壺の献上 ①南九州市②東彼杵町③嬉野市④八女市順
- (首長/後ろに茶壺補助人→栄西禪師坐像に一礼し焼香→茶壺を取り→献上台へ→一礼し着席)
- ④聖福寺老師の言葉を賜る
- ・聖福寺老師から北部九州(八女、星野、黒木地区)の豪雨水害の義援金を八女市北嶋副市長へ

●口切りの儀 12:40～13:00 ・無染池/特設広間にて細川白峰老師が口切の儀を執り行う*雲水1名がサポート

*第二回目の今回は南九州の茶壺を使用

- *境内 ○福岡茶道文化連盟(表千家、裏千家、南坊流、宗徧流、大日本茶道学会、遠州流、武者小路千家)抹茶席をご用意。(煎茶席、抹茶席は有料)
- 売茶翁による煎茶席をご用意

九州産PR「茶壺道中」

江戸時代 博多駅 聖福寺歩く

博多に茶を敬ぶとする江戸時代の行事「茶壺道中」を模したイベント「テイトー」が博多駅前で10月9日(火)行われた。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。江戸時代の博多を再現した「茶壺道中」の約1キロを歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。江戸時代の博多を再現した「茶壺道中」の約1キロを歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。



博多駅前を山歩きする茶壺道中

は「九州の茶を知って、故郷に誇りを持ちたい」という思いで、茶壺道中を歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。江戸時代の博多を再現した「茶壺道中」の約1キロを歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。



10月9日(火)
10月9日(火)

10月9日(火) 10月9日(火)

九州産PR「茶壺道中」

博多駅前で10月9日(火)行われた。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。江戸時代の博多を再現した「茶壺道中」の約1キロを歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。

博多駅前から茶壺道中を歩く。江戸時代の博多を再現した「茶壺道中」の約1キロを歩く。参加者は茶壺を模した籠に二輪の「テイトー」に乗って、博多駅前から茶壺道中を歩く。

＜その他、ニュース報道＞

NHK 福岡放送局、RKB 毎日放送、TVQ 九州放送
佐賀新聞・読売新聞（ネット上で配信）

* 上記テレビ局にて、当日、翌日に渡って放映。

以上